

平成30年度 小栗栖小学校経営方針

1. 平成30年度「学校教育の重点」より

～ 目指す子ども像 ～

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども」

～ 学校教育において重視する視点 ～

- ・子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める。
- ・カリキュラム・マネジメントの視点のもと、P D C Aを意識し、教育課程に基づき、組織的にかつ計画的に日々の教育活動の質の向上を図り、子どもの姿や地域の状況に応じた創意あふれる取組を展開する。

～ 全教職員が進める確かな学校教育 ～

- ① 子どもの命を守りきる
- ② すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める
- ③ 教育者としての職責を自覚し、専門性を高めるとともに、働き方改革を進める
- ④ 校種間連携・接続を推進する
- ⑤ 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う
- ⑥ 保護者・地域と連携・協働した取組を推進する
- ⑦ 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

「生きる力」を育む基本的な考え方 — 知・徳・体の調和のとれた育成 —

2. 平成30年度「学校教育目標」

一人ひとりを大切にする小栗栖教育の推進

～将来に夢をもち なりたい自分になるために～

3. めざす子ども像

- | | |
|---|----------------------------|
| お | … おたがいを大切にする子（仲間意識） |
| ぐ | … グループ活動をがんばる子（対話的、協働的な学び） |
| り | … リズムある生活をする子（基本的生活習慣） |
| す | … すすんで学習する子（学力の向上） |

4. 学校経営方針（獲得させたい資質・能力）

- 生活言語の拡充と学習言語の獲得を通して学力の向上を図る（知）。
- 非認知的能力の育成を通して心の安定化を図る（徳）。
- 基本的生活習慣の定着を通して身体の健康増進を図る（体）。

- 教育に対する価値感の普及・浸透を通して家庭の教育力の向上を目指すことで、学ぶ意欲を育て将来展望の拡充を図る。
- 「知・徳・体」の調和のとれた発達を促すことで、主体的に学ぼうとする意欲を育て、対話的、協働的な学びを通して思考の幅を広げ、生涯にわたり学ぼうとする姿勢と人生を切り拓く力の獲得を図る。

5. 具体的な取組

① 学力向上

- ・「新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業（外部団体と連携した学力データの分析・考察を生かした授業実践）」の指定研究
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用（ドリル、テストのメーカーの統一）
- ・問題解決的な学習、探究的な学習の充実（総合的な学習の時間の再編成）
- ・教科等全般に通ずる言語活動の充実と、教科等の特性に応じた言語活動の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点を生かした個に応じた指導の充実（支援を要する児童への学力保障）と一人一人が活躍できる授業の実践
- ・指導に生かすための評価力の向上と教育データの徹底的な分析と活用
- ・今日的な教育課題（理数・外国語活動）への対応

② 支援教育

- ・子どもたちが「楽しい」「安心」と感じられる学校づくり
- ・子どもが抱える問題の早期発見、解決
- ・「自己肯定感」とその実現に向けての場の設定
- ・安全な学び舎としての環境整備
- ・いじめを未然に防ぐための取組と迅速な対応

③ 人権教育

- ・規律ある生活習慣と規範意識の向上
- ・友だちのよさを認め合い、共に高め合う子どもの育成
- ・道徳教育推進主任及び人権教育主任を中心とした人権教育の推進
(男女平等教育・総合育成支援教育・同和教育・外国人教育・生徒指導・健康教育)
- ・外国人教育と国際理解を内包した多文化共生教育の実施
- ・集団の中で学ぶ、規範意識の育成
- ・伝統や文化の学び、人や動物との触れ合い、自然に親しむなどの体験活動を通した、豊かな感性の育成

④ 生活向上

- ・運動やスポーツの実践と体力の向上
- ・基本的生活習慣の確立
- ・保健教育の充実（飲酒、喫煙、薬物乱用の有害性の認識と生涯にわたっての行動に結びつく指導の推進）
- ・安全教育の充実
- ・防災教育の充実

⑤ 小中一貫教育の推進（平成 29 年度）

- ・9 年間の教育目標 「将来の夢や希望をもってチャレンジする確かな個の育成」
- ・9 年間で目指す子ども像
 - 「確かな学力（授業改善、基礎学力の定着、言語活動の充実）
 - 豊かな心（規範意識の育成、自尊感情の育成、人権意識の高揚）
 - 健やかな体（生活習慣の定着、健康教育の充実、運動・スポーツ活動の充実）

⑥ 働き方改革の推進

- ・行事の見直し、精選
- ・エコデーの確実な確保とセキュリティーセット時刻の厳守
- ・業務の効率化（支援体制の有効活用）

6. 教育構想図

